

地域スポーツクラブの支援機能が期待される団体・組織等について

資料5

	守備範囲	開始年度	役割	機能	課題
行政による支援	広域スポーツセンター (主に、県下全域)	平成11年度	総合型クラブの創設や運営、活動を支援するとともに、「スポーツ活動全般」について、効率的に支援する。	<p>ア 総合型地域スポーツクラブの創設、育成に関する支援</p> <p>イ 総合型地域スポーツクラブのクラブマネジャー・指導者の育成に関する支援</p> <p>ウ 広域市町村圏におけるスポーツ情報の整備・提供</p> <p>エ 広域市町村圏におけるスポーツ交流大会の開催</p> <p>オ 広域市町村圏におけるトップレベルの競技者の育成に関する支援</p> <p>カ 地域のスポーツ活動に対するスポーツ科学・医学・情報面からの支援</p> <p>(出典:スポーツ振興基本計画)</p>	<p>広域スポーツセンター(広域SC)の人員配置については、1センターあたりの平均が、「専任0.6人」、「兼務3.5人」となっており、「広域SCにおいて地域スポーツのニーズに対して、うまくコーディネートできる人がいないのではないか。」との指摘もある。</p> <p>これらを踏まえ、今後の広域SCの望ましい在り方や、その他の既存組織との役割・機能分担等を再構築することが必要である。</p>
クラブによる支援	拠点クラブ (全国300箇所程度)	平成23年度	<p>拠点となる総合型クラブを中心として、周辺の地域におけるスポーツ環境を充実・発展させる。</p> <p>※ 「新しい公共」を担うコミュニティの拠点の育成</p> <p>※ 地域スポーツとトップスポーツの好循環の創出</p>	<p>ア トップアスリート等による巡回指導 トップアスリート及びアシスタントコーチが周辺クラブ等において実施するスポーツ教室などで指導を行う。</p> <p>イ 地域課題解決に向けた取組 プロジェクトリーダーが企画する、地域課題(子育て支援・健康増進等)の解決に向けたプロジェクトの実施。</p> <p>ウ 小学校体育活動の支援 小学校体育活動コーディネーターによる体育活動の計画や担任とチームティーチングで体育活動に取り組む支援。</p> <p>(出典:スポーツ立国戦略)</p>	<p>広域市町村圏における「新しい公共」を担うコミュニティ形成の中核として拠点クラブを位置付け、周辺クラブの諸活動を支援する必要がある。</p> <p>また、トップアスリートが優れた指導者になるための教育・研修の場を充実させることや、小学校体育活動コーディネーターの認知度を向上させることが必要である。</p>

クラブ間相互の情報交換等	総合型地域スポーツ クラブ全国協議会	平成21年2月設立	<p>ア 47都道府県全てに総合型クラブ連絡協議会を設立し、総合型クラブ間の全国的なネットワークの構築を図る。</p> <p>イ 都道府県総合型クラブ連絡協議会と連携し、総合型クラブ間の情報交換及び交流の機会を設け、各総合型クラブの自立を促進する。</p> <p>ウ 総合型クラブの社会的認知度の向上を図るため、総合型のクラブの意義や役割に関する広報活動を推進する。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換・クラブ間交流 ・総合型クラブの財源確保に対する支援 ・クラブ育成に関する調査研究 <p>(出典:総合型地域スポーツクラブ全国協議会リーフレット<日本体育協会>)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブ活動支援 ・社会的認知の向上と広報活動 ・総合型クラブ顕彰に関する研究 	<p>全国の総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、情報交換や交流のさらなる活性化が期待される。</p>
--------------	-----------------------	-----------	--	--	--